

- ・後の文が、前の文の説明であったり、補足であったりする場合は、前の文が中心文
 - [主な接続語] それとも/しかし/しかしながら/しかるに/でも/けれど/それでも/それなのに/それにしても/とはいえ/だけど
 - (3)補足・説明(前の文の内容に、後の文で説明を補う関係)
 - ・前の文が中心文
 - [主な接続語] つまり/すなわち/たとえば/なぜなら/ただし/だって/もっとも/なぜかという
 - (4)累加・添加(前の文の内容に、後の文の内容を付け加える関係)
 - ・前後どちらの文が中心文であるかはいえない。
 - ・そう入文や補足・説明として添加された場合は、前の文が中心文である。
 - [主な接続語] また/および/かつ/そのえう/それに/そして/しかも
 - (5)並立(前の文と後の文が、同時に並ぶ関係)
 - ・前後どちらの文が中心文であるかはいえない。
 - [主な接続語] および/かつ/そして/また
 - (6)選択(前の文の内容か後の文の内容のどちらかを選ばせる関係)
 - ・前後どちらの文が中心文であるかはいえない。
 - [主な接続語] あるいは/それとも/ないし/または/もしくは
 - (7)転換(話題を転じる関係)
 - ・前後どちらの文が中心文であるかはいえない。
 - [主接続語] さて/では/それでは/ときに/ところで
- 2 意味・内容・表現の関係から
- (1)相互の文の内容が同じである場合(言い換え・繰り返し)
 - ア要約文と要約されない文
 - ・要約文がより中心文、「すなわち」、「つまり」などの接続語に導かれることが多い。
 - イ断定的表現と推量的表現
 - ・断定的表現がより中心的文
 - ウ問題提示(疑問)と結論(答え)
 - ・結論(答え)がより中心的文
 - エ肯定文と否定文
 - ・肯定文がより中心的文
 - オ抽象的表現と具体的表現
 - ・抽象的表現がより中心的文
 - カ例示・説明・解説と意見・結論
 - ・意見・結論がより中心的文
 - キ比喩表現と比喩を用いない表現
 - ・比喩を用いない表現がより中心的文
 - (2)他の文に包括される内容の文とその文を包括した新たな内容を加えている文
 - ・他の文を包括し、新たな内容を加えている文がより中心的文
 - (3)指示語を含む文とその指示内容に当たる文
 - ・指示語を含む文がより中心的文

以上のような基準に従えば、㉓段落では、①②文とも「スズメはいたる所に住んでいる」という内容で共通しているが、②は「しかし」という逆接の接続詞に導かれ、しかも「……であろうか」と①の内容を疑って新たな問題を提起しているのです。教科書のいうように、②が中心文であることが分かる。

一方、㉔段落については、①②の文末表現を比較すると、①は「～まい(打消の推量)」で、②は「

～だろう(断定+推量)」であまり違いはなく、内容では、①が「スズメをだれでも知っている」だけなのに、②は「～親しまれてきた」という新たな内容が加えられ、深化していることから、この㉔段落に限っていえば、かえって②が中心文として適当であるかのようにみえる。しかし、㉔の①の「だれでも知っている」と㉓の中心語句「いたる所に住んでいる」とは、互いに響き合う関係にあるので、やはり①を中心文とみるのが妥当であろう。

3 要点をまとめる

「要点のまとめ方」は、教科書も述べているように「各段落の中心となる文はどれかを見付ける」ことが最もよい方法であろう。以下、具体的な例に添って考えてみたい。

例1 ㉓段落の文図

- ①少し山歩きして…そこを出て登りにかかると、すぐに聞こえなくなってしまう。
 - ②平地でも…人家から数百メートルはなれると、スズメのすたはほとんど見られなくなる。
 - ③秋には…人家から何キロメートルもはなれた所でスズメを見かけることはない。
 - ④スズメは、人家付近にしか住んでいないのである。(結論)
- (具体例)

①山地、②平地、③秋は、と場所や時に違いはあるが、結局、①「～聞こえなくなってしまう」、②「～見られなくなる」、③「～見かけることができなくなる」といずれも「人家をはなれた所では」、「スズメ」の姿や声をとらえることができなくなるという具体例であることが分かる。それに対し、④は、より抽象的な要約した表現であり、「～のである」という断定的な文末表現になっているという点で、①②③の具体例から導かれた結論であることが明らかである。したがって㉓の要点は、「スズメは人家付近にしか住んでいない」となる。また、この文は、具体例→結論の最も典型的スタイルで、児童に「要点をまとめる」練習をさせるのに格好の例文だといえよう。

例2 ㉔段落の文図

- ①このように…人家の数の変化によって、スズメの数はどのように変化するのであろうか。(疑問・問題提示)
- ②わたしは、…人かげのたえた所では、スズメもやがてすがたを消すだろうと予想したが…(答・予想)
- ③ところが…そのことが明らかになった。

㉔段落の「要点のまとめ」は、例1㉓段落の場合より、やや難しい。というのは、中心文を見付けることが困難なことと、中心文と思われる文だけでは、「要点をまとめる」のに十分でないという点にある。

①は、「～変化するであろうか」と文末が疑問になっているので、問題提示の文であって、中心文ではない。②は、①の問題提示に対する答えに相当するからより中心文に近いが、筆者の予想ということ